



自販機

業界トップシェアに裏打ちされる技術力と蓄積されたノウハウを活かし、消費電力量の一層の削減を図るなど、環境対応型自動販売機の高付加価値化を推進します。また、高いシェアを活かし、改造や修理、設置などの自動販売機の周辺事業（ストックビジネス）を拡充していきます。

加えて、縮小する市場規模に応じた生産体制を整備するとともに、生産リードタイム短縮など高効率な生産体制構築により収益力の強化を図ります。



セグメントの有する優位性

食品流通分野に確固たる顧客基盤を有しており、業界トップシェアを誇る自動販売機事業を中心に、高効率の冷熱技術、メカトロニクス技術に優位性を持っています。近年の環境負荷低減の要請から拡大している環境対応型自動販売機では、業界トップレベルの省エネ技術を有しています。また、紙幣・硬貨の識別・鑑別技術とマネーハンドリング技術を保持しており、自動販売機や自動つり銭機の金銭処理機構に活かされています。

億円

	2009年度	2010年度見通し	増減
売上高	914	815	-99 (-10.8%)
営業利益	-8	10	+18 (—)

市場環境

飲料自動販売機の国内市場は縮小傾向にあり、2010年度も引き続き低調に推移することが予想されます。その一方で、環境負荷低減の意識の高まりから、省エネタイプである環境対応型自動販売機の需要は拡大していくものとみられます。また、新規設置の需要が落ち込んでいるなか、既設置の自動販売機の修理・改造等の需要は堅調に推移するものとみています。

2010年度の部門方針・戦略

市場が縮小傾向にあるなか、省エネ機能をさらに向上させ当社スタンダード機と比べて41%の消費電力を削減した環境対応型自動販売機の拡販を図ります。また、缶飲料自動販売機と異なったニーズを取り込み、人件費の掛からないことや利便性が高いことを訴求することにより、食品自動販売機やカップ自動販売機の拡販を図ります。

加えて、トップシェアの強みを活かした既設置の自動販売機を対象とする改造、設置、修理などの周辺事業（ストックビジネス）を強化、拡充していきます。

海外事業展開に向けては、特に中国市場をターゲットとして地域特性に適応する自動販売機のマーケティングと拡販に取り組んでいきます。

体質強化に向けた事業構造改革としては、2010年度末までに、高効率の生産を実現する新生産ラインを設置する計画です。サプライチェーン改革による生産リードタイムの短縮など、生産性向上やたな卸資産の削減により収益力の強化に取り組んでいきます。